

仕 様 書

- 1 品 名 新規採用職員用 盛夏服一式
(別紙仕様書のとおり)
- ・盛夏服上着(長袖)
 - ・盛夏服上着(半袖)
 - ・盛夏服ズボン
 - ・盛夏制帽
 - ・ナイロンベルト
 - ・プリスト階級章(消防士)
 - ・上着ワッペン
- 2 数 量 4式
- 3 納入期限 令和 8年 4月 3日(金)
- 4 納入場所 熱海市消防本部が指定する場所
- 5 その他 購入するサイズについては、契約後に消防本部と調整すること。

消防職員用夏服仕様書

熱海市消防本部

第1 総則

1. 目的

この仕様書は、熱海市消防本部（以下「熱海市」という。）において購入する消防職員用の夏服について、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 概要

夏服は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3. 夏服の条件

この夏服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4. その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、熱海市と協議の上、解決すること。

第2 仕様

1. 使用材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は、糸ムラ,番手ムラ,撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。
- イ 織上がりは、均正で、織りキズ,糸節、汚れ等の欠点の無いものでなければならない。

(2) 表生地

帝国繊維	麻混制電トロピカル	EGR16350（当市指定色）又は、
ユニチカ	麻混制電	U-K1680
混紡率	麻	20%
	再生ポリエステル	80%
導電性繊維		1%以内

(3) 袋地

ポリエステル100%または、ポリエステル・綿混紡とする。

(4) 芯地・マーベルト

芯地・マーベルトは本部の承認を得たものとする。

(5) その他

ア ボタン

尿素樹脂ボタンを上着の合わせ、胸ポケット雨蓋,剣ポロ、カフス,肩章ズボンの尻ポケット、鼻天狗止めに使用する。

イ ファスナー・座金前かん

ズボンの天狗及び前立てに使用する。

ウ 縫糸

本縫い、飾り縫い、穴かがり縫いは、表記事と同系色でポリエステル100%の50番または、60番とする。

2. 形状

- (1) 上衣
上衣は、肩章付きワイシャツ型とし、前立てボタンは、5つ掛け、長袖カフス付き（または半袖）左右胸ポケット雨蓋つきとする。
- (2) ズボン
ズボンは、長ズボン、腰帯付きツータック、袖シングル、両脇・尻ポケット付き、腰回り伸縮（拡張）式とする。

3. 縫製

(1) 一般事項

- ア 各部の縫い合わせは、有料で縫い代が適当であること。
- イ 縫い目の飛び、縫いはずれが無いこと。
- ウ 外観は、縫製が、有料で、傷、汚れ、縫い曲り等の欠点が目立たないこと。
- エ 表面に現れる針数は特に指定する場合を除き、次のとおりとする。
- | | |
|------------------|------------|
| (あ) 本縫いミシン | 12針以上/3cm間 |
| (い) 飾り縫いミシン | 12針以上/3cm間 |
| (う) オーバーロック縫いミシン | 8針以上/3cm間 |
| (え) インターロック縫いミシン | 8針以上/3cm間 |
- (お) 飾り縫い幅は、約0.5cmとし特に指定する場合は端飾り縫いとする。
- (か) ボタン穴は、鳩目または、眠り穴かがりとする。
- (き) アイロン仕上げには、十分に注意すること。
- (く) 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式芯貼りプレス機を使用し完全に接着すること。
- (け) 布目は、型紙の指定とおりとする。

(2) 上衣（長袖・半袖）

ア 衿

- (ア) 上衿には、芯を入れ、剣先幅約7.5cm、後ろ中央幅約4.5cmとし、周囲を飾り縫いとする。
- (イ) 台衿で上衿を挟み、端飾り縫いし、身ごろに縫着する。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は、1枚袖とする。
- (イ) 長袖は、剣ボロ付きボタン止めとし、カフスには芯を入れ周囲を飾り縫いする。カフス幅は、約6.5cm、剣ボロの開きは約12cmとしダブルボタン付きとする。
- (ウ) 半袖は、三つ折りとする。

ウ 袖付け縫い

袖付けは、身頃のくりを延ばさないよう注意し、インターロックミシン縫いし、一条の押さえ縫いをする。

エ 沸き縫い及び袖縫い

沸き縫い及び袖縫いは、通してインターロックミシン縫いとする。

オ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃に拌みヒダ付きポケットを各 1 個端飾り縫いで、縫着し、雨蓋（ボタン止め）付とする。
- (イ) ポケット口は、幅約 2 c m の三つ折り縫いとし、口両端は、コの字かんを入れる。
- (ウ) 拌みヒダは内ヒダとし、幅は、約 2 c m とする。また、ヒダの表側両端は、飾り縫いとする。
- (エ) 雨蓋は芯を入れ、ボタン穴かがり周囲は飾り縫いとする。中央幅は約 7 c m、左右端幅は焼く 5 c m とし、長さは、約 14.5 c m とする。左雨蓋の前中心側より焼く 1.5 c m の所に幅約 3 c m のペン差し込み口、更に焼く 1.5 c m 外側に、幅約 2.5 c m のネーム札差し止め差し込み口を設ける。
- (オ) ポケットの深さは、前中心側で焼く 14 c m、脇縫い側で約 15 c m とし口幅は約 13.5 c m とする。

カ 前合わせ

幅約 3.5 c m の表前立てつきとし、ボタン 5 個掛けとする。

キ 肩章

- (ア) 肩章幅は約 5 c m で芯入りとし、周囲を飾り縫いし先端にボタン穴をかがる。
- (イ) 肩章付けは、袖付けに挟み、縫い付ける。

ク ヨーク

合わせヨークとし、背ヨーク中央で幅約 10 c m とする。又、背ヨークで後ろ身頃を挟み縫いし、表に飾り縫いをする。

ケ 肩縫い

前ヨークで前身頃を挟み、端飾り縫いとする。

コ プリーツ

背身頃中央に幅約 3 c m のアウトボックスプリーツを入れる。

サ 階級章及び階級章取り付けマジックテープ

右胸雨蓋中央上部から約 1 c m 上に、横約 4 c m、立て約 2.5 c m の B 面マジックテープを縫いつけ、その上に当本部指定のプリスト MG 色階級章を、貼り付ける。

シ 裾

裾は、約 0.3~0.5 c m の三巻縫いとし、馬乗り型とする。

ス ワッペン台座（長袖のみ）

左袖上腕部に、当市指定ワッペン取り付け用のマジックテープを縫い付ける。

セ 片布

横約 5 c m、縦約 7 c m の当市指定片布を、左胸ポケット裏に縫い付ける。

(3) ズボン

ア 脇ポケット

- (ア) 斜めポケットを左右両脇に各1個つける。
- (イ) 口布は、最大で2cm以上折り返し、約0.5cmの飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から最大5cm以上年、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (ウ) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- (エ) 口の下端は、冑止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は、表、裏ともカナラズ1cm以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫うようにする。

イ 尻ポケット

- (ア) 片玉縁作りとし、左右に各1個つける。
- (イ) ポケット周囲は端ミシンを掛け、口両端は冑止めをする。
- (ウ) 向当布は幅約4cm以上とし、裁ち目は、オーバーロックかがりをし、袋地に縫い付ける。
- (エ) 左のみ中央上部にボタン穴かがり、向当布にボタンを縫いつける。
- (オ) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。
- (カ) 上端は、表裏とも必ず1cm以上腰帯にかかるとする。

ウ タック

外向きタックを、左右各2本取る。

エ 腰ダーツ

左右腰後部に各2本取り、片倒しする。

オ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は、芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥は、オーバーロックかがりとする。
- (イ) 天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。
- (ウ) 前立ては芯を入れ、表裏に地縫い返して、奥の裁ち目は芯とともにオー、バーロックかがりをする。
- (エ) 前立て飾りは、幅約3.5cmとする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんをつける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てとともに冑を入れる。

カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は、身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーを、2条縫いで縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫いまたは環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりとする。

ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫いまたは環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫い代は2cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをする。
- (ウ) 棒シックは、またぐりにそって、ミシン縫いをする。

ケ 腰裏

- (ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部（尻縫い目）は、縫い割りとする。
- (ウ) 左右脇縫いの箇所、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- (エ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所、表生地に通して、閉止めをする。
- (オ) 腰裏の下端は、尻縫い代の箇所、まつり止めする。

コ 腰帯

- (ア) 腰は、3.5cmの腰帯とし、脇縫いの箇所、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- (イ) 腰帯内部に伸縮樹脂ゴムテープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各3.0cm以内（ウエスト周りとして6cm以内）腰周りの拡張ができるようにする。

サ バンド通し

- (ア) 前身頃タック、脇縫い、尻縫い脇、後身ポケット上の8本付けとする。
- (イ) ループ作りは片側四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約1cm長さ約4.5cmとする。
- (ウ) 取り付け位置は、ズボン上端より約1cm下がりとする。

シ 裾

裾は折り返し幅3cm以上のすくい縫いとする。

ス 片布

横約5cm、縦約7cmの当市指定片布を左脇ポケット袋地に縫い付ける。

(4) ベルト

当市指定の型及び色（ナイロン製）にて、バックル金具つきとする。

(5) ネクタイ

当市指定の型及び色（再生ポリエステル製）とする

第3 補則

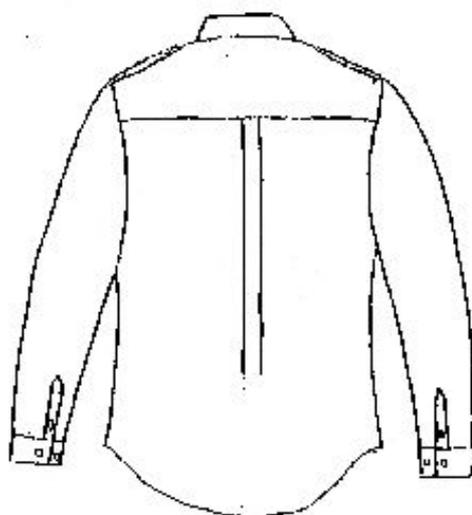
1. プレス後、適切な方法で折たたみ、各個人のサイズごとに上下組み合わせビニール袋に収納すること。
2. サイズ 落札者の用意するサイズ取り用のゲージを使用し、各個人を採寸をすること。

熱海市消防職員夏服仕様図

プリスト階級章



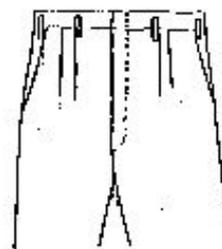
ワッペン台座



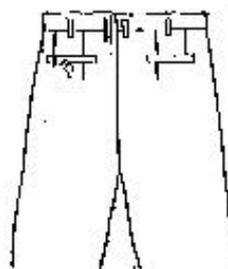
ズボン(側面)



ズボン(前面)



ズボン(後面)



ワッペン仕様図



熱海市消防職員夏制帽仕様書

第1 総則

1. 目的

この仕様書は、熱海市消防本部（以下「熱海市」という。）において購入する消防職員用の夏服について、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 概要

夏服は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3. 夏服の条件

この夏服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4. その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、熱海市と協議の上、解決すること。

第2 仕様

1. 使用材料

(1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ 織上がりは、均正で、織りキズ、糸節、汚れ等の欠点の無いものでなければならない。

(2) 表生地

帝国繊維	麻混制電トロピカル	EGR16350(当市指定色)又は、
ユニチカ麻混制電	U-K1680	
混紡率 麻	20%	
再生ポリエステル	80%	
導電性繊維	1%以内	

(3) 縫糸

表生地と同系色でポリエステル100%の30番及び50番とする。

(4) あご紐

指定色のクルミ型とし両端には、金色の消防官徽章（15mmネジ足式）をつける。

(5) 前章

本体の共生地で台座を包み、モール製の銀色消防官徽章を、中心にし左右に金色8枚葉をつけたものを縫い付ける。

(6) スベリ

黒色のポリウレタンとし、活性炭含浸素材

(7) 庇（ひさし）

指定色レザー仕上げとする。

(8) 周章

指定色の網蛇腹を使用する。

(9) 前立

鋼線 2 本入りのものを使用し、枠及び天井パッキンはポリエチレン製とする。

2. 縫製

(1) 一般事項

ア 各部の縫い目は、優良で縫い代が適当であること。

イ 縫い目の飛び、縫いはずれが、無いこと。

ウ 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりの無いこと。

(2) その他

ア 天井は、汚損よけのビニルシート（指定サイズ）を縫い付け名札入れポケットを、接着する。

イ マチ縫いは前面 2 枚、後ろ面 2 枚を、縫い合わせ、両端にカザリミシンをかける。前面にマチ芯を入れ裏地を縫いつける。

ウ 通風穴は、マチの両側に指定色の鳩目穴各 2 個つける。

エ 特に形状全体の優美さに留意すること。

3. 補則

1. 梱包

各個人ごとにビニール袋に収納すること。

参考図

